

東北大学 探求型「科学者の卵養成講座」

●育成したい人材像

- ・分野横断的な発想力と試行錯誤の中で探求する「科学の眼」を持つ人材
- ・科学の持つ力を確信し、様々な課題に対して柔軟な考え方を持つ人材
- ・新しい解決策や世の中を変える価値観を生み出すことができる人材

●背景（問題意識）

- ・実際に手や頭を動かし探求する実体験が少なく、高校教育までで学習した知識を活用し、実生活、実社会に応用する「科学の眼」に乏しい
- ・普段の学習、実生活、体験、実験を連動させ、「自然の中にある科学」を発見し、批判的思考のもと課題を発見し探求できる「科学の眼」を養うことが重要

●企画の主な特徴

東北大学が有する多彩な研究教育資源を活用した高度な研究活動による探求型教育プログラム

- ・9年間の実施実績・高い業績実績と修了生との強い絆を活用した運営体制
- ・多様な入り口による受講生の選抜と段階的な育成プログラム体系
- ・東北大学の理系全学部の教員参画による先端研究を通じた研究活動の実施
- ・多彩な大学レベルの講義とともに、研究倫理、キャリア教育を含めた研究基礎力養成と、高度な研究活動を通じた研究実践力育成による探求型教育の実施

●企画の主体組織

東北大学 探求型「科学者の卵養成講座」運営委員会

●連携機関

宮城県教委、青森県教委、岩手県教委、秋田県教委、山形県教委、福島県教委、栃木県教委、埼玉県教委、群馬県教委、仙台市教委、宮城教育大学、NPO法人 natural science

●企画の最終目標

科学が有している力を理解し、真に国際的な視点と新しい価値観を創造できる次世代の傑出した探究型科学技術人材育成を最終目標とする

本プログラムの概要



大学/高校連携による探求型教育

